

私は、英語が不得意です。高校時代に成績が落ち、苦手意識を持ち始めてからずっと英語から逃げてきました。

社会人になり「逃げていては駄目だ」と英会話を始めますが、レッスンで英語の質問に答えられない自分が恥ずかしく、長くは続きません。時間が過ぎ、再び英会話に通いますが、また恥ずかしくなり続かない…を繰り返し、今に至ります。今思えば、英語ができないと誰かが笑うことありませんし、新しく学ぶことから、分からなく

②⑦ 理科実験を英語で教える



て当然なのですが、結局、逃げてしまいます。

しかし今回は英会話が楽しく、継続しています。その秘訣は楽しみながら学ぶエデュテイメント。

私は今までに海外で幼稚園児から大学生を対象に科学実験教室を開催したり、サイエンスショーを披露したりしてきました。

「理科の楽しさを子どもたちに伝えたい」。海外では、これしか考えていません。英語だけでは伝えきれないから、ジェスチャーや分かりやすい実験道具、絵や文字

で補い授業をします。目の前の子どもたちに伝え、楽しませたいと必死で、恥ずかしいなんて思っている暇なんてありません。

「同じことを英会話スクールでできないかな？」

そこで、「英会話スクールに英語を学びに行くのではなく、私が理科の実験を英語で教えに行く」という方法を思いつきました。そんなプログラムの英会話スクールはありません。しかし、興味を持ち、受け入れてくれるスクールを見つけました！

レッスンでは、海外の子どもたちに見せてきた理科実験を英語で紹介します。実験を見た先生は、「Amazing(すごい)！」と驚き、「Why(なぜ)？」とフリートークのような形で英語での問答が始まります。絵や文字も使うのですが、最近では、しっかりと伝えるために事前に英語で絵本を作成し、写真、実験をしながら説明する形が定着してきました。

先生のすてきな反応がうれしくて、「先生をもっと驚かせたい」「どうやって説明したら伝わるかな？」と考えるようになっていま

す。毎回の英会話が楽しくて仕方ありません。英語絵本作りはとても大変ですが、楽しいので苦ではありません。むしろ、「伝えたい」の一心で、レイアウトの工夫をしたり、わかりやすい英語を調べたり、自然と英語やその表現方法を考えるようになりました。

絵本を作るなど創意工夫して

今も英語は得意とは言えませんが、「恥ずかしい」という気持ちはなくなくなりました。楽しみながら学ぶ「エデュテイメント」の効果を感じています。どんな学びでも、「楽しい」と思える仕掛けが大切です。